

令和六年度 日高看護専門学校 入学試験問題

「一般」

「国語総合」

(時間：六十分)

《注意事項》

- 1 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があります。監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
- ① 氏名欄に、氏名・フリガナを記入してください。
- ② 番号欄に、右詰めで受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしてください。  
正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。
- 3 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしてください。  
国語の問題は全部で三十七問あります。解答用紙の問一から問三十七までの解答欄を使用してください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了後に問題冊子を回収しますので持ち帰らないでください。
- 6 問題冊子の所定の欄に受験番号を記入してください。

受 験 番 号





一 次の問いに答えなさい。解答番号は①～⑤。

問一 次の作品の中で、作品の書かれた時代が違つるものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は①。

- ① 好色一代男 ② 風姿花伝 ③ 奥の細道 ④ 曾根崎心中

問二 次の一節を含む作品の作者を選び、番号で答えなさい。解答番号は②。

下人の眼は、その時、はじめてその死骸の中に、蹲うずくまっている人間を見た。檜皮色ひわだいろの着物を着た、背の低い、痩せた、白髪頭の、猿のような老婆である。

- ① 芥川龍之介 ② 夏目漱石 ③ 中島敦 ④ 森鷗外

問三 次の傍線部の敬語のうち、尊敬語ではないものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は③。

- ① お父様が元気で帰っていらして、よかったですね。  
② 先生はすぐにいらっしゃるようですから、少しお待ちください。  
③ 結構なものをいただきました。本当にありがとうございます。  
④ どうぞ遠慮なさらずに、たくさん召し上がってください。

問四 「終始一貫」と同じ漢字の構成で成り立っている四字熟語を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は④。

- ① 一喜一憂 ② 前後左右 ③ 臨機応変 ④ 竜頭蛇尾

問五 【例文】の傍線部「に」と同じ用法が用いられているものを、あとから一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は⑤。

【例文】きのう、仲のよい友人が遊びに来ました。

- ① 入院していた母はやっと元気になりました。  
② ちょっと待ってください、すぐに行きますから。  
③ 彼のお姉さんは女優のように美しいです。  
④ 夏休みは友だちと旅行に行く予定です。

二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。解答番号は⑥〜⑩。

「ヤマザキさん、ご自分の『芯』を強くしたものは何だと思えますか？」

何かのインタビューでそんな質問を受けました。たしかに今まで生きてきていろいろと耐えてきたことはありますが、そんなときに自分に『芯』があるなんて実感したこともなければ、あったとしてもそれが強いなどと思つたことすらありません。個人主義の集団とも言えるイタリアにいるときは違つて、日本にいるとつい大きな声にスポイルされてしまう傾向の強い自分は、むしろナンジャクな『芯』の持ち主かもしれないと感じるくらいです。それでも、周りの人に私の何かが強いものとして見えるのであれば、それは子どもの頃からいくつもの社会の不条理と向き合ってきた経験と、価値観の異なる世界をたくさん見てきたことによる<sup>A</sup>「諷刺」を指しているのかもしれませんが。

私にとって、旅とは価値観の違いを学ぶ教育の場でした。幼い頃から読書を通じて世界中の倫理観や価値観の違いが気になっていたりすることもありますが、若いうちに国外に出たことによつて、それぞれの国にはそれぞれの国独自の社会環境を守るためにでき上がった、様々なルールがあることも明確に見えてきたのだと思えます。

価値観の違いをこの目でリアルに学べたことは、人間として生きていく上で私の大きな<sup>b</sup>「カタチ」になっていることとは間違いありません。そういった自覚が、<sup>はた</sup>「傍目には『芯の強さ』として見えているのかもしれませんが。

周りと考え方の共有ができないと初めて感じたのはいつだったのか。思い出すのは、<sup>1</sup>「子どもの頃に母から『フランダースの犬』の本を渡された」ときのことです。

日本でアニメ化もされた<sup>9</sup>世紀イギリスの児童文学を私に読ませた母の（ア）は、絵描きになりたいと言い出した娘を思い直させようというものでした。ご存じの方も多いと思いますが、あの物語は実に悲しいクライマックスを迎えます。画家になる夢をもった牛乳運びの貧しい少年ネロが、極寒のなか、大聖堂のルーベンスの祭壇画の前で愛犬パトラッシュとゼツメイ<sup>c</sup>してしまいます。アニメ放映の最終回では大概の人が、「かわいそうに」とその死に涙しましたし、今でも思い出すと泣けるという友人もいます。母も、本の最後のページをじつと見入っている私に、かねてから準備していたと思いき言葉を掛けてきました。

「ね？ かわいそうでしょ？ 絵描きさんになるというのは、そういうことなのよ」

<sup>x</sup>しかし、物語を読み終えた私には、<sup>2</sup>「ネロをかわいそうだと思うことができませんでした。そこへ至るまでの彼の煮え切らない態度に何か納得のいかないものを覚えていたので、「ネロは勇気がなかったから、こんな目に遭つたんだ」と受け止めたのです。誰かが自分の絵を認めてくれるのを待っている姿には、ケンキョ<sup>d</sup>さよりも「驕<sup>おご</sup>り」すら感じました。誰かの助けを当てに<sup>せ</sup>ず、いざというときには知恵を<sup>こう</sup>「狡<sup>う</sup>に駆使すればいいだけのことだったのではないか、運河に停まっている船にでもこっそり乗り込んで、もつと暖かい地域に行っていれば、犬まで道連れにして死ぬようなことはなかったのでは、と考えたものです。

当時、私が『フランダースの犬』と共に読んでいたのが、『シンドバッドの冒険』と『ニルスの不思議な旅』でした。二つの物語に共通するのは、主人公が困った状況に陥つても、より広い世界に目を向けて冒険に乗り出

すという点です。「才能があるのにそれをハッキリすることもなく、誰にも認められないまま死んでいくのね。かわいそう」という（イ）よりも、私にはシンドバッドのずる賢さのほうがずっと魅力的に思えてなりませんでした。

フランダーズのネロも、外に目を向ければ逃げ道がたくさんあったと思うのです。目の前の環境だけでなく、地球全体を見るつもりで、自分なりの価値観を築いていけば生きていくこともできる。実際、ちよつと後ろを振り返るだけでも、「なんだ、あつちにもこつちにも、道や扉がたくさんあるじゃないか」と違う進路が見えてくる。事実、私はそうして17歳のときに、絵の道を選ぶことがスイショウされない日本を飛び出して、未知の国イタリアへ行つてしまいました。

人は誰しも、逃げ道がないとなれば壁にぶつかり、行き詰まります。そしてその壁の多くは、自らのなかに生き方の定型というフォーマツトを細かくつくることで発生します。「生きるとはこういうことだ」「これ以外の解決策はない」「これを成し遂げなければもう終わりだ」……といった柔軟性の足りない考え方によって、自分で壁を形成してしまうわけです。カタクな思い込みに囚われていると、後ろを振り向けないし、逃げ道も探せないし、歩き出すこともできなくなるでしょう。

パンデミックが始まって以来、私たちは今までの社会的ルールや倫理性のすべてが正しいとも言えない状況を経験してきました。まるでコロナウイルスに、「人間の世界には群れをまとめるための法則があるようだけど、今回はそれが通用しないかもしれません。いよいよギゾンの考え方にはすがらない、自分たちの判断に頼るときがきたのです」というようなことを告げられているようにも感じていました。

もつとも、それまで信じ、確信をもってきたことを疑うのには、知性と想像力を駆使しなければなりません。基本的に怠惰を好む人間には、普段は使わない量のエネルギーが必要になってきます。信じていたものに疑念をもつことで不安も増長し、そこに費やされるエネルギーもまた増えることでしょう。信仰や信念という種の怠惰とも言える既存のタガを外すことは、それほど私たち人間にはハードルが高い。しかし、これまでの常識に「疑い」をもつことは、壁を壊して新しい生き方をモサクするのにいちばん有効な鍵になると私は思っています。

メディアからの情報や、周囲の人の言葉に流されていると、見えるべきものが見えなくなってしまうことが往々にしてあります。世間の倫理や社会の常識は、いったん吸収した上で、それらが本当に必要なことなのか、真意にむけて真摯に掘り下げられた考えなのか、と疑ってみる。そうして自分なりの審美眼を鍛え、自分の頭で考える実践を積んだ先にカクトクできるのが、自分にとつての真理、つまり「良識」です。世間体や宗教の教理から生まれたルールに囚われず、人間という生き物としてこの世界で生きる上で何が必要か、それを追求するための知性や考察の修練が自分に相応しい判断力を磨いていくのです。人間に必要なのは、環境によって形成される常識よりも、そうした良識だと私は考えます。

（ヤマザキマリ「歩きながら考える」より、一部改変あり）

\*『フランダーズの犬』 英国の女流作家ウィーダの児童小説。一八七二年刊。

問一 傍線部 a、i と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は

(6) (15)。

- |   |       |      |                   |                  |
|---|-------|------|-------------------|------------------|
| a | ナンジャク | (6)  | ① 幸いにもナンを逃れた。     | ② ナン水は肌にやさしい。    |
| b | カテ    | (7)  | ③ 高気圧がナン下してきた。    | ④ ロウニヤクナンニヨ。     |
| c | ゼツメイ  | (8)  | ① 途上国へのシヨクリヨウ援助。  | ② シヨクザイを買いに行く。   |
| d | ケンキヨ  | (9)  | ③ シヨクヒの高騰に悩む。     | ④ あの人はシヨクツウだ。    |
| e | ハッキ   | (10) | ① 昔から続くメイシン。      | ② 先生の話にカンメイを受けた。 |
| f | スイシヨウ | (11) | ③ 大きなヒメイが聞こえた。    | ④ うちの祖父はチヨウメイです。 |
| g | カタク   | (12) | ① 大至急タイキヨしなさい。    | ② 苦労してトツキヨを取得した。 |
| h | キン    | (13) | ③ キヨム感に陥ってしまった。   | ④ キヨドウ不審の人物。     |
| i | モサク   | (14) | ① キシユウ攻撃を受ける。     | ② 条約をハキする。       |
| j | カクトク  | (15) | ③ キハツ性の液体。        | ④ キチヨウな経験を積む。    |
|   |       |      | ① ジャスイしてはいけない。    | ② 鉄棒でケンスイをする。    |
|   |       |      | ③ 犯行はミスイに終わった。    | ④ 夜はジュクスイしました。   |
|   |       |      | ① コベツの事情。         | ② ガンコな老人。        |
|   |       |      | ③ コウガンの美少年。       | ④ コウシキ野球チーム。     |
|   |       |      | ① キキンヅクヲ扱う店。      | ② 本を母校にキゾウする。    |
|   |       |      | ③ 責任感のキハクな人。      | ④ 彼はキコンシャです。     |
|   |       |      | ① 母のモに服する。        | ② モハンの生活。        |
|   |       |      | ③ 海辺のカインウに足をとられた。 | ④ 池のミナモに映る月影。    |
|   |       |      | ① カワ張りのソファ。       | ② 今日のエモノは少なかつた。  |
|   |       |      | ③ 私所有地をヒロげた。      | ④ 故郷の風景はオボえています。 |

問二 空欄ア・イにあてはまる語句として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答

番号は(16)・(17)。(アには「目的」を意味する語が入る)

- |   |      |         |         |         |         |
|---|------|---------|---------|---------|---------|
| ア | (16) | ① たくらみ  | ② あきらめ  | ③ くわだて  | ④ もくろみ  |
| イ | (17) | ① 博愛の精神 | ② 慈愛の倫理 | ③ 献身の論理 | ④ 愛惜の感性 |

問三 二重傍線部 A・B のここでの意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。

解答番号は(18)・(19)。

- |   |      |                     |                 |
|---|------|---------------------|-----------------|
| A | (18) | ① 物事の本質を見極めていくこと。   | ② 競争社会から逃避すること。 |
|   |      | ③ 他人は理解できないと絶望すること。 | ④ 将来を冷静に見通すこと。  |

B (19)

- ① 抑制が利かなくなつて暴れること。
- ② 常識を弁えずに行動すること。
- ③ 規律や束縛から抜け出すこと。
- ④ 調子に乗つて気ままに振る舞うこと。

問四 二重傍線部X「煮え切らない」と同じ意味を表す四字熟語を次から選び、番号で答えなさい。解答番号

は (20)。

- ① 隠忍自重
- ② 付和雷同
- ③ 言語道断
- ④ 優柔不断

問五 傍線部1「子どもの頃に母から『フランダースの犬』の本を渡された」とあるが、この時の母の考えと

して最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は (21)。

- ① 画家志望の娘に現実の厳しさを教えて、なんとか娘の考えを翻意させようと思っている。
- ② 将来の職業は子どもの時に決めるものではなく、成長してから考えさせようとしている。
- ③ 絵描きになると、自分の周囲の人々まで不幸にしてしまうことを教えようと考えている。
- ④ 画家になりたいと思つている娘に、画家になつたら犬とは暮らせないことを教えている。

問六 傍線部2「ネロをかわいそうだと思ふことができませんでした」とあるが、その理由を説明したものと

して最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は (22)。

- ① 自分の夢を実現させるために、かわいい愛犬を犠牲にしてしまうような生き方に疑問を感じたから。
- ② 努力しなくても待つていれば、みんなが自分の天才を認めてくれると思つている傲慢な性格だから。
- ③ 自分なりの価値観をまったくもたずに、周囲の人の考えに合わせようとする生き方を嫌悪したから。
- ④ 自分の人生を切り拓くための行動をしないで、周囲の助けを待つだけの態度が物足りなかったから。

問七 傍線部3「自らのなかに生き方の定型というフォーマットを細かくつくる」とあるが、その意味を説明

したものとして最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は (23)。

- ① やたらに他人に頼ることなく、自分の人生は自分で決めるという信念を大切にしたい生き方をする。
- ② 人生の目標を早くから決めて、それを実現するためにはすべてを犠牲にするという覚悟を持つ。
- ③ 多様性のある生き方を認めずに、目の前の環境だけに目を向けて自分の生きる道を狭めてしまう。
- ④ 柔軟性のある考え方を持つて、人生にはいろいろな生き方があることを自分に納得させようとする。

問八 本文の趣旨として、最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(24)。

- ① 人の生き方は一通りとは決まっていけないのだから、世間の常識に縛られずに自分の頭で考えることを優先して、自分なりの価値観を築いて生きていくことが大切である。
- ② 画家になるためには親や周囲の人々の考えに妥協せず、世間の倫理や社会の常識をいっさい認めることなく最後まで自分の価値観を貫き通す強い意思が必要である。
- ③ 親の元を早くから離れて、若い頃から世界中を旅して価値観の異なる世界の存在を知らないと、人生において自分の夢を実現することは難しいかもしれない。
- ④ 窮地に陥ったときでも、落ち着いて外に目を向ければ逃げ道はたくさんあるはずなので、自分で作った生き方の定型というフォーマットを大切にして自分の審美眼を鍛えるのがよい。

三 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。解答番号は(25)～(37)。

子どもにとって、山村での暮らしの楽しみの一つは、何といっても「夏の川遊び」だろう。私が通っていた村の学校はキボが大きくなかった。小学校では全校で一〇〇人以下の子どもたちが集い、その集団は学校から帰ってからも交流する。<sup>a</sup> シュリヨウ採集時代における一つの部族内のような状態である。

ある夏の日(夏休みだったと思う)、私は兄などの年長者を言ひ、一〇人ほどの子ども集団で、いつも水遊びに使っている場所とは違う、下流の水遊び場に行くことになった。

そこは、われわれの集落群(同じ小学校に通う集落のまとまり)と、一〇キロほど離れた別の集落群(別の小学校の学区の集落のまとまり)との境にある場所で、二つの別々の集落群の子ども集団が、<sup>b</sup> ヒンドは低かったが、ときおり利用する水遊び場所でもあった。集落群内の水遊び場より川幅が広く、深い場所も多く、岸辺の大きな岩から見下ろすと、川が深緑色に見えた。

「よそ者」と遭遇するかもしれないというリスクも含めて、魅力のある場所だったのだ。われわれは皆、緊張しながらその場所へと近づき、あるところで、年長者の数人が偵察隊として「下流の水遊び場」の様子を見に行ってくることになった。

やがて帰って来た偵察隊は、下流「部族」の子ども集団が水遊びに来ていたけど、帰りはじめていた、と言った。それを聞いて、われわれはちよつと緊張を解き、けつして出会わないように気をつけながらゆつくりとしたスピードで進んでいった。

「下流の水遊び場」に着いたときは、予想通り、そこにはだれもいなかった。そこでわれわれは、川の中に入って思い思いの遊びを始めたのだ。

ところがだ。少しして、自分たちの集落へ帰っていった子ども集団の中の一人と思われる、見知らぬ年長の個体が、「下流の水遊び場」に何か忘れものをしたらしく、もどってきたのだ。

その個体の姿にわが集団のだれかが気づき、その気づきは「集団全体に広がった」。

「見知らぬ年長の個体」も驚いただろう。そしておそろく「われわれに怖さを感じたのだろう」。川縁に身を隠し、それでも、その子にとつとでも大切なものだったらしく、われわれの近くまでゆっくり近寄ってきて、水中メガネのようなものを手に取ると、全速力で去っていった。

(ア)、下流「部族」の子ども集団は、「下流の水遊び場」から、それほど遠くに移動していなかったらしく、その証拠に、しばらくして、下流「部族」の子ども集団の幾人かが、われわれの様子を探ろうとしたのだろう、われわれの見えるところまで近づいてきて「こちらを見ていた」。

私は、<sup>2</sup>年少個体だったが、なんとも言えない緊張感をもどってきたのを感じた。

そして、下流「部族」の子ども集団の偵察隊は、後方で待っていたと思われる本隊へともどっていったのだ。

(イ)、これはテレビで見たチンパンジーの二つの集団が、偶然、接近してしまったときの様子と似ている気がする。

何やら懐かしくもあり、おかしくもあり、悲しくもあり、とにかくそのとき私は、独特な胸騒ぎ、緊張感、集団内の結束感のようなものを感じ、その感じを今でも思い出すことができるのだ。

人類学や進化心理学では、「よそ者嫌い」という心理現象が知られているが、年少個体の小林少年が経験した、「ほかの「部族」集団を見たときの、独特な胸騒ぎ、緊張感、集団内の結束感」は、まさにそれだったと考えられる。

同一「部族」集団内のメンバーとは積極的に協力するが、ほかの「部族」集団のメンバー（つまり、「よそ者」）には、強い警戒心を示すという心理特性である。

(ウ)、進化心理学とは、ホモ・サピエンスの心理を対象にした動物行動学と考えればよい分野だが、要するに、「心理も、本来の生息環境、生活環境に適応している」という「ラシバン」をもって、心理を分析・理解する学問である。

なぜ、そのような心理特性が存在するのか、についての進化的な視点からの有効な仮説の一つは、(読者の方は意外に感じられるかもしれないが) 「他「部族」からの病原体の感染のリスク回避」である。

自「部族」から離れた地域で長く生きてきた他「部族」では、その「部族」特有の病原体とのつきあいの中で、病原体のほうでは、ヒトに重症化を引き起こさない「オダ」やかな性質の病原体へと進化を遂げ(重症化させる性質だとヒトからヒトへの感染が難しくなり病原体が繁殖しない)、ヒトのほうでは免疫系を発達させ、共存の関係を築いている。

そういった状態で、他「部族」の個体と偶然出会って、接触があったとすると、他「部族」の個体内の病原体がこちら側に感染する恐れがある。そうになると、その病原体は、こちら側の体内で激しく増殖し、「ジュウトク」な症状を引き起こす可能性がある。逆もしかりだ。

(エ)、記録で知られている例としては、一六世紀、スペイン王室の配下にあった植民地ヌエバ・エスパ  
ーニヤ副王領は、先住民が集住する中央アメリカに勢力を拡大し、先住民に、彼らには免疫が発達していなかつ  
た天然痘、麻疹、水疱瘡、ペスト、おたふく風邪、百日咳などの病原体を感染させ、それが先住民の多くの命を  
奪ったと考えられている。

水遊び場をへだてた河川の上流と下流の、われわれ上流「部族」の子ども集団と下流「部族」の子ども集団  
の場合ではスケールが違いすぎるが、それぞれの集団に対する **A** は、「よそ者嫌い」の本質と同じで  
はないかと思われるのだ。

(小林朋道「苦しいとき脳に効く動物行動学」より、一部改変あり)

\*ヌエバ・エスパニーニヤ副王領 一六〜一九世紀に北アメリカ大陸などにあったスペイン帝国の植民地

問一 傍線部 a〜e と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は

- |                      |                       |                  |
|----------------------|-----------------------|------------------|
| (25) a シュリヨウ         | (25) ① 朝から晩までシユギョウする。 | ② イノシシをかる。       |
| (29) b ヒンド           | ③ 雑草をかる。              | ④ 盗賊のシュリヨウを捕まえる。 |
| (26) c ラシンバン         | ① セイヒンに甘んじた生活。        | ② 卒業式のライヒン祝辞。    |
| (27) d オダやか          | ③ 地震がヒンパツする。          | ④ ヒンセイの卑しい人間。    |
| (28) e ジュウトク         | ① 今後のシシンを明確にする。       | ② 不審者がシンニユウした。   |
| (29) ① 私             | ③ ケンシンテキな努力。          | ④ 噴火でシンドウが止まない。  |
| (30) ② 私の祖父はトクシ家だった。 | ① 父はオンコウな人柄です。        | ② 寒いのでダンボウを入れる。  |
| (31) ③ オンシンが不通になった。  | ③ オンシンが不通になった。        | ④ 言動がオンケンな人物。    |
| (32) ④ カントクとして働く。    | ④ 彼の説明にトクシンした。        | ④ カントクとして働く。     |

問二 段落始めの、空欄ア・イ・ウ・エにあてはまる語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で  
答えなさい。解答番号は **(30)**、**(33)**。

- |        |         |        |         |         |
|--------|---------|--------|---------|---------|
| (30) ア | ① なんと   | ② やつぱり | ③ じつは   | ④ ちなみに  |
| (31) イ | ① 考え直すと | ② 今思うに | ③ なぜならば | ④ やつぱり  |
| (32) ウ | ① ちなみに  | ② 例えは  | ③ 今思うに  | ④ なぜならば |
| (33) エ | ① さすがに  | ② やつぱり | ③ じつは   | ④ 例えは   |

- 問三 空欄Aにあてはまる語句として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(34)。
- ① 精神的恐怖感      ② 集団的結束感      ③ 心理的警戒感      ④ 一時的緊張感

- 問四 傍線部1「われわれに怖さを感じたのだろう」とあるが、その「怖さ」の内容を説明したものとして最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号は(35)。
- ① 今まで存在も知らなかった集団と遭遇してしまったことへの恐怖感。  
② 自分一人で別の集落群の子どもたちに相対することになった恐怖感。  
③ よそ者から新しい病気の病原体をもらってしまうかもという恐怖感。  
④ 大事な水中めがねを別の集落の子どもたちに奪われてしまう恐怖感。

- 問五 傍線部2「私は、年少個体だった」とあるが、「年下の少年」ではなく「年少個体」という言い方をしている理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(36)。
- ① 私自身がその時、部族の一員であることを強く意識していたことを分かりやすく表した。  
② はるか昔の話で、もうはつきりとした記憶も残っていないので客観的な言い方をした。  
③ 上流と下流に分かれて住む人間の勢力争いを、動物行動学の研究論文として記述した。  
④ 子ども集団の対立を、テレビで見たチンパンジーの様子と比較しやすいように記述した。

- 問六 次の文を読んで、本文の内容と合致するものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(37)。
- ① 日本によくある「よそ者嫌い」という心理現象は、山村など人口の少ない地域特有のものであると考えられている。
- ② 人間がなじみのない集団との接触を嫌う要因の一つに、未知の病原体からの感染リスクを回避する心理があるとも考えられる。
- ③ かつての川の上流下流の子ども集団の争いと、歴史上の侵略者と先住民族の争いとは動物行動学の観点からは異質のものである。
- ④ 最近ではまだ免疫がない病原体を利用して、大国が他国の住民の命を奪いその土地を自分のものにするという心配もある。